

草津市立少年センター・あすくる草津



# 少年センターだより

## 『大切な判断は自分でしなければならない』

草津市小中学校長会 中学校長代表

新堂中学校長 藤澤 紳行



1月18日の朝日新聞、「縦横無尽」というコラム欄で以下の記事を目にしました。山梨県の4つの県立高校の野球部が集まっての練習試合を「選手やマネージャー以外はベンチに入らない。監督は審判をするか、ネット裏で見守るか」といったルールで行っているというものでした。企画を進めている先生は「大人が与えすぎているのではないか…」という疑問をもつ中でこの取組を始めたということでした。「野球の実践では局面ごとの大事な判断は自分でしなければならない。大人の視点で答えを与えると大事な判断が自分で出来なくなってしまう。勝敗を分ける判断が何かを選手にもわかってほしい」という考えを持ち指導にあたっているということでした。「確かにイライラすることもあるけれども、

こういうことを経て成長するのだからと自分に言い聞かせています」とも述べられています。私のつたない部活動での指導を振り返ってみた時、様々な場面で「教え込む方がいいのか」「生徒に任せた方がいいのか」を試行錯誤しながらきたように思います。うまくいかなかったことの方が多かったかもしれませんが、**褒めたり叱ったりしながら生徒の「気づきや納得」があった時、あれこれ言わなくても自ら動き出す子どもの姿があった**と感じています。



現在、学校の授業では主体的・対話的で深い学びが求められています。課題に対して、自分の考えを持ち、仲間とのかかわりを通して、確かな自分の考えを持つことが大切です。生徒が自分の考えを



グループで交流する場面やICT機器を活用しながらプレゼンテーションする場面を見ていると、目的を持ってやり続けることで、子どもたちの考え行動する確かな力が育っていることを感じています。先に述べた練習試合のルールも、授業での学びのスタイルも、その実践の先には、他者と力をあわせながら主体的に自分の人生

を歩んでいく子どもの姿があるのだと思います。

生徒指導において大切な要素である「**自己決定の場を与える**」ことを意識し、**社会がどのように変化しようとも、子どもたちとの対話を大切に温かく接することが、これからの青少年の育成につながる**のではないのでしょうか。この先、私が野球の指導をする機会があれば、改めて「審判をするかネット裏で見守るか」を忘れずにいようと思います。



## 市内中学校卒業生向け「啓発グッズ」(エコファイル)を作成!!

3月に入り、暦(こよみ)の上でも「冬の寒さを逃れるため土中に隠れこもっていた虫たちが、暖かくなって地中に這い出てくる」とされる『啓蟄(けいちつ)』が近づいてきており、春の息吹を至る所で感じられるようになってきました。さて、今春市内中学校を卒業する皆さんが、これから進もうとしている社会においてさらに成長して

いってほしいという願いを込めて、「啓発グッズ」を作成し、各校へ配布しました。**すべての卒業生の皆さんの未来が輝かしいものでありますように!!**



## 「青少年の健全育成・非行防止に向けた支援の方途について」

～少年補導委員会研修会開催～



少年補導委員会研修会

2月1日(木曜)キラリエ草津で「草津市少年補導委員会研修会」が開催され、服部達也教授(京都産業大学法学部)に上記テーマで講演していただきました。少年補導委員、草津警察署、あすくる支援サポーターなど45人が参加しました。青少年の自己有用感(肯定感)の育成に向けて、地域の行事(祭りなど)に参加するなど青少年の社会貢献活動を推進し積み重ねること、そしてそのために地域の理解や協力を大切にしていくことなど、これまでの多くの経験にもとづく話がありました。

## 少年補導委員さんの一言～1年間の活動を通して～

補導委員の皆様、街頭巡回活動、広報啓発活動はじめ様々な活動に1年間御尽力いただき、誠にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。年度末にあたり、数名の少年補導委員さんからお聞きした1年間の活動を振り返っての一言を紹介します。



少年補導委員による街頭巡回活動

○街頭啓発活動で声を掛けた少年たちは高校生が多かったのですが、ほとんどの子が朗らかで素直な様子で安心しました。しかし一方で、よく報道等で問題にされる青少年の暗い部分は全く見えず、子どもたちの心の声が本当に聞けたかどうか自問しています。(Aさん)



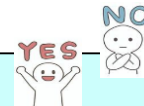
○中学校の非行防止教室に参加し、生徒たちが真剣に話を聞いていた姿が印象的でした。また、薬物等の内容も自分の中学時代と比べてもしっかり理解していて、よいものとダメなものを区別できていると思いました。(Bさん)

## 今、あすくるでは...

### レクレーションにチャレンジ!

いつもより多くのサポーターさんに参加してもらい、いつもとは違う活動をしました。ジェスチャーゲーム、豆つまみリレー…。人前に出ることが苦手な少年が、最初は恥ずかしさから少し引いた様子で参加していました。でも、サポーターの皆さんの楽しそうな雰囲気が少年を優しく包み込んでいきました。

すると少年が自分から「次は、やってみる!」と前に出てくれました。そして、チームが勝ったときには、一緒に喜びハイタッチ!したり、負けたときには悔しがり、「もう一回やろう」と言ってみたり…。「失敗してもいい」「負けたっていい」…と安心して思える居場所の大切さを改めて感じることでできたひと時でした。



## ひとりで悩まず! まずは相談を!!

非行等さまざまな課題を抱えた、少年本人・保護者・関係者などからの相談に応じています。



月曜日から金曜日(祝日、年末年始は休業)9:30~16:00

○電話相談 ○面接相談 (相談は無料です。)

相談専用電話 (077)562-0594

カウンセラー(臨床心理士)による相談も実施しています。  
※要予約

～少年に 愛のひと声 わたしから～

## 草津市立少年センター・あすくる草津

525-0032 草津市大路二丁目1-35 市民総合交流センター(キラリエ草津)3階  
TEL(077)562-6561 FAX(077)567-0557

